

看護学科

2年

科 目 名: 小児看護学援助論 I				担 当 教 員 氏 名: 古里 直子、平井 宏衣、北澤 由美子	
単 位	開 講 時 期	科 目 の 区 分	授 業 方 法	(卒業要件) 必修/選択	備 考
1	2年次 前期	専門科目	演習	必修	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:		看護師の実務経験を生かして看護の場や対象の理解を現状について講義を行う			
授業科目の学習教育目標の概要:			キーワード		
小児看護学概論の内容を踏まえ、子どもの発達段階を踏まえた看護援助の方法を学ぶ。病気や障害等の健康問題をもつ小児と家族を理解する。「子どもの最善の利益」を考慮した看護援助についての知識を習得する			病気・障がい・症状・健康問題・小児・家族 ・「子どもの最善の利益」・看護支援・倫理		
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福祉マトリックスで示される番号)		1. 2. 5. 6. 8.	
A 知識・理解力	①発達段階に合わせた小児の特徴を理解し、安全な看護援助を提供するための、知識を学ぶ				
C 論理的思考力	②健康問題に配慮した小児の成長発達・栄養への支援のあり方の、基本姿勢について記述できる				
B 専門的技術	③小児を取り巻く環境を考えることができる				
D 問題解決力	④健康障害をもつ子どもと家族の看護についてグループ間で理解を深め、自己の看護観を深めることができる				
F チームワーク・リーダーシップ					
G 倫理観	⑤「子どもの最善の利益」を考慮し、子どもとその家族を尊重をした支援について考えることができる				
成績評価の基準と方法: 以下の方法により評価し、学期および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: 70 %	レポート: 15 %	発表: 15 %	課外活動: %	その他: %	
特記事項:					
グループワークにおける態度・取り組み姿勢や課題内容について評価する					
アクティブラーニング要素:					
課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 各単元終了後に定めた日時に実施する。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: テストや提出レポートに評価の数値化やコメントを記載して返却					
授 業 計 画			準 備 学 習 ( 予 習 ・ 復 習 等 )		
			学 習 内 容		学習に必要な時間(分)
①【古里】小児看護学① こどもの身体的特徴					【予習】60分 【復習】60分
②【古里】小児看護学① こどもの倫理と発達段階					【予習】60分 【復習】60分
③【古里】小児看護学①第2章 小児の状況(環境)に特徴づけられる看護			【予習】テキストの該当箇所を読む		【予習】60分 【復習】60分
④【古里】小児看護学①第3章 小児における疾病の経過と看護			【復習】配布資料の確認と復習・小テスト		【予習】60分 【復習】60分
⑤【古里】ゲストスピーチ:小児看護① 周手術期の子どもと家族の看護					【予習】60分 【復習】60分
⑥【古里】小児看護学①第1章 病気・障害を持つ子どもと家族の看護 第7章 障害のある小児と家族の看護					【予習】60分 【復習】60分
⑦【古里】ゲストスピーチ:発達段階や疾患を踏まえ、小児の権利と心理面を考慮した関わり方			【復習】 レポート提出		【予習】60分 【復習】60分
⑧【古里】小児看護学②第6章 感染症と看護					【予習】60分 【復習】60分
⑨【古里】小児看護学②第3章、12章 代謝性疾患と看護、腎・泌尿器疾患と看護					【予習】60分 【復習】60分
⑩【古里】小児看護学②第11章 悪性新生物と看護			【予習】テキストの該当箇所を読む 【復習】配布資料の確認と復習・小テスト		【予習】60分 【復習】60分
⑪【平井】小児看護学①第8章 子どもの虐待と看護					【予習】60分 【復習】60分
⑫【古里】小児看護学②第8章 循環器疾患と看護					【予習】60分 【復習】60分
⑬【古里】小児看護学② 第3章～第12章 グループワーク					【予習】60分 【復習】60分
⑭【古里・北澤・平井】グループ発表:「病気を持つ小児の看護」			【予習】グループ発表に向けて、担当箇所の発表資料作成 【復習】他のグループと学びを共有する		【予習】60分 【復習】60分
⑮【古里・北澤・平井】グループ発表:「病気を持つ小児の看護」					【予習】60分 【復習】60分
評価審査	試験 健康障害のある小児と家族の生活・療養するための看護の理解を問う				
使用テキスト:	その他参考文献など:				
・系統看護学講座 小児看護学① 医学書院 ISBN 978-4-260-02002-2 ※1年次購入済 ・系統看護学講座 小児看護学② 医学書院 ISBN 978-4-260-01990-3 ・写真でわかる小児看護技術 改訂第3版 インターメディカ出版 ISBN 978-4-8996-344-8 ・ナースの小児科学 中外医学社 ISBN 978-4-498-07579-5					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): ・成長・発達の特徴を理解し、看護につなげることができる考えをトレーニングする場とする。 ・看護師として「子どもの最善の利益」を守る関わりができる知識の習得を目指す。					